

令和4年度 全日本大学対抗テニス王座決定試合 東海地区予選東海大学対抗テニスリーグ戦注意事項

1. 出場資格

(1) 東海学生テニス連盟の4年制大学において登録年度数及び在籍年数4年以内とする。

但し、医学部系においては登録年数6年以内、短期大学は2年以内とする。

(2) 転向や再入学をした者については、移籍前の地区でリーグ戦が開催された場合、移籍後同年内に移籍先の地区で開催されるリーグ戦の試合に出場することが出来ないが、移籍前の地区でリーグ戦が開催されていない場合は、移籍後同年後内に移籍先の地区で開催されるリーグ戦の試合に出場することが出来る。

2. 組み合わせ

- ・ 組み合わせは男子、女子ともに1～5部は前年度順位に基づき以下の通りとする。

(男子1～6部、女子1～5部)

第1戦 第1位 対 第6位 第2位 対 第4位 第3位 対 第5位

第2戦 第1位 対 第5位 第2位 対 第3位 第4位 対 第6位

第3戦 第1位 対 第4位 第2位 対 第5位 第3位 対 第6位

第4戦 第1位 対 第3位 第2位 対 第6位 第4位 対 第5位

第5戦 第1位 対 第2位 第3位 対 第4位 第5位 対 第6位

※各対戦は学連が定めた日に終わらせるものとする。

3. 順位決定

順位は以下の順に決定する。

- 1 勝率の高い大学を上位とする。

大学の勝率 = 勝利した団体戦の数 ÷ 総対戦数 (行った団体戦の数)

- 2 2つの大学が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする

3 3つの大学が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。

(1)勝ちポイント数の多い大学が上位

(2)(1)が同じ場合、全試合の取得セット率が高い大学が上位

※取得セット率=取得したセット合計数÷全試合のセット合計数

(3)(2)が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高い大学が上位

※取得ゲーム率=取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数

4 ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数は全て 0 とする。

[例: 3 セットマッチなら 60 60]

5 けが等によるリタイアの場合は、勝者はリタイア後の残りのゲームを全て勝ったとして記録し、敗者はリタイアするまでにとったゲーム数を記録する。

[A 対 B の 3 セットマッチで、B が 63 22 の時にリタイアした場合、勝者は A でスコアは A から 36 62 60 と記録する。]

⑦ 上記各項で順位が決定しない場合は大会要項に明記する方法で順位を決定する。

(くじ引き、同順位、タイブレークゲームなど)

4. コート選択権 (2～6部)

別紙参照

5. 試合形式

・ 男子 3セットマッチ各セット6-6後 ITF 1 2ポイントタイブレーク方式

ダブルス 3本 シングルス 6本

・ 女子 3セットマッチ各セット6-6後 ITF 1 2ポイントタイブレーク方式

ダブルス 2本 シングルス 3本

6. 試合の順序

原則として以上の通りである。但し、試合状況により大会委員会の判断でポイント決定後打ち切ることがある。基本的に男子は3面進行、女子は2面進行で行うが、進行上の都合それ以上になる場合もある。

・ 男子 ダブルス 第3位から順次第1位まで

シングルス 第6位から順次第1位まで

- ・ 女子 ダブルス 第2位から順次第1位まで

シングルス 第3位から順次第1位まで

※ シングルス No5、No6 のレスト状況によっては No2、No3 を先に入れるものとする。

7. 試合開始時刻

- ・ 1部

試合開始時刻は原則として男子、女子ともにダブルスを午前10時とし、引き続きシングルスを行うものとする。

- ・ 2～7部

試合開始時刻は原則として男子、女子ともにダブルスを午前10時とし、引き続きシングルスを行うものとする。但し、両校代表者によりこれを変更することができる。

※時刻は時報（117）を基準とする。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、変更する可能性があります。

8. オーダー交換

- (1) 各種目試合開始前に指定されるコートに出場選手が必ず整列すること。整列していない場合のみ当該選手の試合を没収試合とする。閉会宣言時には各種目出場選手が整列する。このとき何らかの理由で整列できない場合には、事前にレフェリー（2～6部はレフェリーと担当学連と相手校）に申し出ること。尚、シングルのオーダー交換は、ダブルスの試合終了後即座に行う。（オーダーを書き換える等の時間は認める。）又、整列時はウェアを着用しておく。ウォームアップスーツを着用する場合も中にウェアを着用していなければならない。着用してない場合は即座に着替えさせる。（特にペナルティーは課さない）
- (2) 出場する選手は必ずオーダー交換時にサービスライン上に整列することを義務とする。また、サブメンバーに関しては後列に整列するかは各大学に任せるものとする。

9. オーダーの変更オーダー交換後の変更は一切認めない。但し、次対戦に関してはオーダー規約に反しない限り以下のように認める。

- (1) 第 1 戦のオーダーを基本とする。
- (2) オーダー規約に基づき、出場順位の高い資格を有する選手から高い順位に入る。同等の資格を有する選手同士の順位は問わない。
- (3) 第 2 戦以降のオーダーは全試合基本オーダーに基づき、1 人の選手につき同等の資格を有する前後 1 つの順位の選手との入れ替わりを認める。即ち 2 段階以上の順位の異なる選手が逆になってはならない。
- (4) 同等の資格を有する選手の順位に関しては、比較する 2 人の選手が初めて同時に出場したときのオーダーを基準とする。
- (5) 第 2 戦以降新たに選手を入れる場合、またはオーダー規約の順位に変更がある選手を出場させる場合、入る場所は(2)に従い、新しく入った選手(またはオーダー規約に変更があった選手)を除いた残りのメンバーの中で、(3)及び(4)に沿った移動が可能である。
- (6) 単複 2 種目で同じ選手が 2 回出場することはできるが、同じ種目に 1 人の選手が 2 回以上出場することはできない。
- (7) ダブルスのオーダーもシングルスと同様に考える。
- (8) 人数不足の際は、順位の高いほうから選手を入れていく。

10. 服装

- (1) 服装はテニスウェアであれば色は問わない。男子はシャツ (Tシャツは不可) にパンツ、女子はワンピース又はシャツ (Tシャツは不可) にスカートあるいはショーツとする。尚、ウォームアップスーツ等の着用はウォームアップ時に限定する。寒い場合はレフェリーの判断により認める。
- (2) ロゴは“JTA テニスルールブック”に基づき、違反ロゴに対するテープの使用は認めない。
- (3) 大学のロゴについて大きさの規定はない。

11. ベンチコーチ

1面1名で90秒のエンドチェンジ間、120秒のセットブレイク間以外に立ち上がった
り、選手に触れたり、話しかけたりしてはいけない。服装については問わないが必ずテニ
スシューズを着用するものとする。またベンチコーチの通信機器の使用を禁止する。

それに違反した場合

1回目 注意 2回目 警告 3回目 退場

退場の場合その試合日はベンチコーチには入れません。

※その行為が故意的でないとしても同様である。また、退場した場合その試合中の代
理は認められない。

(1) 資格

出場校のテニス部員で、東海学生テニス連盟に加盟している部員。それ以外のものは、
大会を通じて1日につき2名までベンチコーチとして随時大会本部にて登録するこ
とができる。(同日中の変更は認めない)

(2) 入退場

コートの入場回数は問わないが、交代は1試合につき1回のみとする。(交代は
アップ開始時からの適用とする)但し、入退場に関してはコートレフェリーにその
旨を伝える。必ず90秒のエンドチェンジ間又は120秒のセットブレイク間に入退
場すること。

(3) トイレットブレイク

ベンチコーチ自ら申し出ることとはできず、選手と同じ時にのみトイレットブレ
イクをとることができる。これは交代には含まれない。しかし、トイレットブレ
イク中に観客等の第三者と話した場合はベンチコーチに戻ることはできない。また、そ
の後のベンチコーチの補充もできない。

12. ボールパーソン

ボールパーソンをつけるかどうか、或いはどのようにつけるかは両校代表者の話し合
いで決めるものとする。ボールパーソンは1コート2名(各大学1名まで)、一切の応
援をしてはならない。選手、応援、ベンチコーチと会話してはならない、又触れてはな
らない。

それに違反した場合

1回目 警告

2回目 ボールパーソンの禁止、失点

※その行為が故意的でないとしても同様である。

13. 審判

- ・ 1部

中立校から審判を出すものとする。

- ・ 2～7部

原則として上位校がオーダーの奇数試合の SCU を出すものとする。

14. オーダー

選手出場順位はオーダー規約に従うものとし、学連提出用と相手校提出用の2通を用意すること。尚、選手が必要本数に満たない場合は第1位より順に入れるものとする。

15. 雨天及び日没

レフェリー又は両校代表者が、雨天及び日没により試合不可能と判断した場合、その対戦
戦
の中止、中断、打ち切りをすることができる。

- ・ 1部

中止、中断の場合はその試合の再開の時刻及び会場はレフェリーによって決定される。

- ・ 2～7部中止、中断の場合はその試合の再開の時刻及び会場は、両校代表者によって決定される。但し、次対戦前に終了させなければならない。決定後、両校代表者は担当学連にその場で報告する。両校で意見が食い違った場合は、最初の決定日時はレフェリーが判断する。尚、中断の場合、サービスサイド、スコア等の記録、ボールの保管は当該選手の責任とする。

※日没は新聞発表の時刻を原則とする。

16. ウォーミングアップ及びコートチェンジ

- (1) 試合開始前のコートでのウォーミングアップは5分以内とする。

※新型コロナウイルス感染症対策により変更することがあります。

- (2) コートチェンジは90秒以内、ポイント間は20秒以内とする。

- (3) コートレフェリーに試合の進行を促されても試合に入らない場合は、随時ポイントペナルティ制度を適用する。

(4) 雨天などで中断した試合を同1日中に再開する場合の練習。

15分以下の中断 なし

15～30分の中断 3分以内

30分以上の中断 5分以内

17. 棄権

自然的体力消耗（めまい）による試合中断は随時ポイントペナルティ制度を適用する。尚、偶発的事故による怪我のために試合続行できなくなった場合は、1回の事故につき

1回だけ3分以内の治療を認める。

※治療はコートで行うものとし、1部ではオフィシャルトレーナーが行うものとする。

※2部以下では、コート内に出場資格の有無に関わらず1名の入場を認める。

この1名はMTOのたびに変わってもよい。ベンチコーチは治療の手伝いをしてよい。

※治療時間（メディカルタイムアウト）をとりたいときはベンチコーチが主審にその旨を告げ、主審からコートレフェリーに連絡するものとする。（2～6部は主審が3分はかる。）

※治療時間（メディカルタイムアウト）は治療開始から3分以内とする。

18. 応援

応援とは試合を盛り上げ、自校のチームを勝利に導くためのものであって相手校をやるためのものではない。よって、相手校を侮辱する応援、ジェスチャー、器具（道具）などを用いて相手校、相手選手、審判などの心理を攪乱させるような行動及びプレーの妨げとなる行為をしてはならない。学生スポーツ精神に反し、良識を欠くとみなされる場合には審判が客観的に判断し処分する。道具を使つての応援は一切禁止とする。

※ 不正な応援に対する処分（応援者に対して）

1回目 警告

2回目 拍手のみの応援、失点

3回目以降 応援の禁止、失ゲーム

※ その行為が故意的でないとしても同様である。

※ 自校の応援も選手がコントロールする義務がある。

※ 今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、声出しの応援を認めない。

詳細は別紙参照。

19. プレイヤー（選手）

※ 学生スポーツマンシップに反し、コートマナー及び競技規制を厳守せず学生精神の向上並びに学生テニス界の発展、統一に支障をきたす選手は当該ポイント失格のうえ幹事会において処分する。学生スポーツ精神に反する態度（暴力など）をとった大学を全日本大学テニス王座決定試合に推薦しない場合がある。自校の応援も選手がコントロールする義務がある。

20. 試合球

使用ボールは公認ダンロップフォートテニスボール（イエロー）とする。

(1) 1部

ボールチェンジは9-11-11とし試合中のパンク、ロストについては、コートレフェリーが試合進行状況から判断し処置する。

(2) 2～6部

ボールチェンジはファイナルチェンジとし試合中のパンク、ロストについては、両校の合意で処理すること。奇数試合のボールは上位校、偶数試合のボールは下位校が出すこととする。

21. 没収試合

- (1) オーダー交換時に、出場選手が整列していない場合のその当該試合。（*両校で時計を事前に合わせていた場合のみ有効）
- (2) 試合開始の際、出場選手が試合に入らない場合のその当該試合。
- (3) オーダー規約に反した場合のその当該試合。（大会委員もしくはレフェリーが確認したもののみ）
- (4) インプレー中に痙攣などでプレーが中断している場合、その選手にダブルスパートナーが触れたその当該試合。
- (5) 式次第の時、オーダー用紙が無い場合の当該試合。
- (6) オーダー用紙をオーダー交換時に持っていない場合の当該試合。

- (7) 「9. オーダーの変更」の規定を破ったその当該試合。
- (8) 過去の判例により“所属学部によってどの団体に所属するかが決まる”というものが決定されており、同じ大学でも別団体として扱う文章が存在しているためそれに該当する大学が該当する選手を出場させた場合の当該試合。

※ オーダー交換前に訂正する場合は2重線により認められる。ペナルティーは加算されない。

22. 質疑、抗議

・ 選手

審判にそのプレーに対する判定に質疑することはできる。

- ・ ベンチコーチ 質疑・抗議ともにできない。

・ 質疑権所有者

オーダーに対する質疑、試合進行に関する質疑を大学に代表してレフェリー、ディレクターと対応するものであって、プレー、判定、相手校の応援に対し質疑するものではない。(2～6部は相手校に質疑の旨を伝えた上で試合にあった日に担当学連に連絡し、その指示を仰ぐこと。)

23. トイレットブレイク

ウォームアップ中も試合中と同様回数に数える。選手がコートに戻った後残り時間を使ってウォームアップを再開する。相手選手は待っている間、第3者とウォームアップすることはできない。コートレフェリーがついていく。(2～7部は相手校の主務)終了後は余りのレストの時間は使用できない。(90秒以上かかった場合)また、終了後にベンチ等に座ることはできない。

・ 男子

1試合にシングルス1回、ダブルス1組2回、トイレを理由に原則としてセットブレイク時に理にかなった時間(約5分間)でとることが出来る。但し、状態が深刻であると判断した時は例外がある。

・ 女子

- ・ 1試合にシングルス、ダブルス(1組)で共に1回、トイレ又は着替えのいずれかの理由で理にかなった時間(約5分間)でとることが出来る。セットブレイク時が望ましい。但し、状態が深刻であると判断した時は例外がある。着替えはセットブレイク時のみとする。

24. 休憩

一切認めない。

25. ポイントペナルティ制度

今大会はこの制度を採用する。この制度は、スポーツマンシップの高揚と試合秩序の維持をはかり、コートマナー及び競技諸注意規則を厳守させることにある。ダブルスのペアの1人が犯した違反はペアに対して科される。

1回目 警告 2回目 失点 3回目以降 その都度失ゲーム

26. その他

コートを勝手に離れた場合

1回目 警告

2回目 失格

パラソルはチェンジコート間のみ開いてよい。

その他のルールについては JTA ルールに基づく。

試合日について

● 男子 2部～6部

第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦
7/9(10)	7/23(24)	8/6(7)	8/27(28)	9/17(18)

★ 女子 2部～5部

第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦
7/16(17)	7/30(7/31)	8/20(21)	9/3(4)	9/24(25)

☆入れ替え戦 10/1(2)

※()は予備日

詳細は別紙参照

全日本大学対抗テニス王座決定試合

東海地区予選東海大学対抗テニスリーグ戦 オーダー規約

選手出場順位は以下の規定に基づくものとする。

(1) シングルス

- 1、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)ベスト 8
- 2、前年度全日本テニス選手権大会本戦(単)出場
- 3、全日本学生テニスランキング(単)10 位以内(2020 年 9 月末発表時点)
- 4、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)ベスト 16 進出者
- 5、全日本学生テニスランキング(単)20 位以内(2020 年 9 月末発表時点) 6、JTA(単)ランキング 100 位以内(2018 年第 38 週時点)
- 7、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)ベスト 32 進出者
- 8、全日本学生ランキング(単)40 位以内(2020 年 9 月末発表時点)
- 9、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 単本戦優勝者
- 10、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)出場者
- 11、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会ベスト 8 進出
- 12、本年度全日本学生テニス選手権大会(単)予選出場者
- 13、前年度東海学生テニス単 TOP10 プレイヤー
- 14、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 ベスト 16
- 15、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 単本戦出場
- 16、本年度本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 単予選決勝進出者
- 17、無資格者

※ 3.5.8.は、試合前一週間を切らずに全日本学生単ランキングが更新された場合は更新された全日本学生単ランキングを適用するものとする。

※ 3.5.6.8.13.は、明らかに順位が上の者を上位とする。

※ 1.10.11.は、当該大会において明らかに成績が上の者を上位とする。

(2) ダブルス

- 1、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)ベスト 4
- 2、前年度全日本テニス選手権大会本戦(複)出場
- 3、全日本学生テニスランキング(複)10位以内(2020年9月末発表時点)
- 4、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)ベスト 8進出者
- 5、全日本学生テニスランキング(複)20位以内(2020年9月末発表時点)
- 6、JTA(複)ランキング 100位以内(2020年第38週時点)
- 7、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)ベスト 16進出者
- 8、全日本学生ランキング(複)40位以内(2020年9月末発表時点)
- 9、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 複本戦優勝者
- 10、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)出場者
- 11、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会ベスト 8進出
- 12、本年度全日本学生テニス選手権大会(複)予選出場者
- 13、前年度東海学生テニス複 TOP10 プレイヤー
- 14、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 ベスト 16
- 15、本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 複本戦出場
- 16、本年度本年度東海学生春季テニストーナメント大会・東海学生テニス選手権大会 複予選決勝進出者
- 17、無資格者

※ 該当項目の和が少ないペアを上位とする。

※ 3.5.8.は、試合前一週間を切らずに全日本学生複ランキングが更新された場合は更新された全日本学生複ランキングを適用するものとする。

※ 3.5.6.8.13.は、明らかに順位が上の者のいるペアを上位とする。

※1.10.11.は、当該大会において明らかに成績が上の者のいるペアを上位とする。

新1年生・新規登録者について

新一年生または新規登録者をリーグ戦に出場させる場合、試合前日までにUNIVAS 選手・学校登録管理システムに登録してください。登録されていない場合は、リーグ戦に出場出来ません。万が一、未登録選手がリーグ戦に出場した場合、当該試合が没収試合となりますのでご注意ください。

ご不明な点がございましたら、担当学連にご連絡ください。

試合終了後について

- (1) 試合終了後、勝利校がその日のうちに学連公式ラインでスコアシートの写真とともに試合結果を報告してください。（『シングルス〇本、ダブルス〇本、計〇本で～大学の勝ちです』）何かトラブルが起こった場合は、必ずその際に伝え担当学連の指示を仰いでください。
また所属する部のグループラインにてアルバムを作成し、そこにオーダー用紙と結果の写真を載せてください。
- (2) 勝利校は相手校から学連提出用のオーダー用紙（シングルス・ダブルス）を受け取り、スコアシートに必要な事項を記入し、自校の学連提出用のオーダー用紙（シングルス・ダブルス）と合わせて東海学生テニス連盟事務所(住所 〒464-0851 名古屋市千種区今池南 29 番 10 号川島 第2ビル 203号室)に速達で郵送してください。

※ 速達郵便物（計5枚）

- ・自校の学連提出用のオーダー用紙（シングルス・ダブルス）
- ・相手校の学連提出用のオーダー用紙（シングルス・ダブルス）
- ・スコアシート